

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 I S K

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・「看護は人間を癒す芸術である」との信念のもと、社員と一緒に訪問看護に取り組んでいる。 ・毎月の運営会議や日々のコミュニケーションで丁寧に方針、目標を社員に説明している。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則に法令遵守について記載している。 ・毎月の運営会議や日々のマネジメントの中で法令遵守の大切さを社員に説明している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・就業規則に不正な行為を禁止することを記載している。 ・利用者獲得の際に、施設の説明など不正な行為がないよう、日々のマネジメントで説明している。										10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・当社の事業活動が、社会・環境に及ぼす影響を把握している。 ・社長自ら担当者として取り組む体制としている。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・当社の「営業秘密」の保護に努めている。他社に情報が流れ使用されることが無いように社員に説明している。								8.2 8.3	9								16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・利用者の個人情報およびマイナンバーに関しては取り扱いを役員と事務長に限定し、情報へのアクセス権を設定している。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・利用者およびそのご家族の声を集めている。その声を皆で共有し、改善につなげている。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・研修会への参加や、専門書籍の購入を定期的に行ない、認識の共有に積極的に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などを備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者を専門学校に進学させて、後継者としての力をつけさせている。								8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスマントの禁止について就業規則に定め、社員に周知している。 ・差別やハラスマントに関するコミュニティケアの購読や、全国訪問看護事業協会の研修を実施し、相談窓口を設置している。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・社員のメンタルヘルスが重要と考え、職場での心理的安全の実現に向けた管		3						8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の原則に沿って、社員の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・家事や育児と仕事を両立できるように、フレックスや労働時間の短縮ができる環境作りに努めている。 ・残業時間の削減や有給休暇の取得を奨励している。		3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・高い技術を習得することで高度なサービス技術が提供可能になるため、以下の資格等を有するスタッフが在籍している。 ・取得については、経費支援をしている。 ●看護師教育課程受講 ●ネアヨガインストラクター ●呼吸療法認定士 ●アロマ環境協会1級アロマセラピスト認定資格 ●痰吸引インストラクター			4	5.5				8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康経営の考え方のもと、健康診断や予防接種には経費補助があり、毎年受診するよう管理している。		3						8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・人材不況の中、性別に関係なく、退職後雇用や定年後の再雇用に取り組んでいる。			4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウィルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・社外持ち出し用タブレットをスタッフに配付しデータのクラウド化を整備、ズームやスカイプ等有効活用している。 ・基本的感染対策に加え、個別の業務ルームの確保が出来ている。		3						8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・スタッフへタブレットを配付して、現場での入力やデータの送信など、業務の効率化を図っている。 ・介護支援ソフトほのほの(ND)の利用、会計ソフトJDL IBEX(税理士事務所との通信)を利用している。								8	9.1		11	12							
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●					3	4				8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 I S K

- ・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
- ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
- ・【予定】の項目は1年以内に【〇〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、適切に処理している。 ・事業から排出される注射針などは施行後、医療機関に返却している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・空調の室温管理や照明のLED化によりオフィスの節電に取り組んでいる。 ・ポータブル蓄電池（太陽光パネル）を導入しており、現場での電力、災害時の予備として使用できるようにしている。 ・エネルギー使用量はEXCELで管理している。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・省電力型エアコン導入、LED照明によりオフィスの節電などで間接的ではあるがCO2排出の抑制に取り組んでいる。 ・CO2排出量を熊本県指定の簡易計算シートで管理している。		2.4										12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動においては、グリーン購入に適合した製品を購入し、環境にやさしいサービスの提供をしている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・敷地内の枯葉、雑草を堆肥にしている。 ・使用済みのトナーやドラム、カートリッジは回収し、リサイクルのために購入業者に返却している。								9.4				12.2 12.4 12.5	14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所では「節水」のために、節水器具を使用したり、「節水」の張り紙で意識付けしている。 ・地下水を利用している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・オフィスや介護現場で使用する消耗は、できるだけグリーン購入商品を選定している。 ・購入においては、無駄が出ないよう必要量を購入したり、使用後にリサイクルできる包装材に配慮している。								9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・過多な購入品や作物等は持ち寄り、スタッフ間へ分配したり、「まちの保健室」活動での調理等に使用している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所の敷地内の植栽に取り組んでいる。 ・事業所の前の遊歩道（緑の回廊）の草取り、花を植えたり、ゴミ拾いをしている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・蓄電池（太陽光パネル）を導入し蓄電している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・スタッフによる自転車通勤を促進している。									9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 I S K

- ・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
- ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
- ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・毎年、県ホームページ内の情報公開内容を更新している。 ・管理者が同行訪問して、普段の活動に問題ないか確認している。 ・定期的に開与先合同の担当者会議に参加している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・施設内では、お客様のために分かりやすい表示（駐車場、施設への動線）、段差解消（スローブ）、手すりなど設置している。 ・張り紙は利用者に見やすいようにしている。ルーペを準備している。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・「まちの保健室」にて行う調理時には、県産の原材料を優先的に使用している。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		・事務所開設の際一部木材壁とし、ベランダ設置時木質化した。						7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・全年齢を対象にした孤立化対策として、事務所隣接の民家を「まちの保健室」として開放し、ボランティアとして活動している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・「まちの保健室」として民家を開放した居場所の提供、健康相談、趣味の活動の場所を提供している。 ・地域の他事業所の救急対応（蘇生）などの講師を務めている。 ・地元の看護学校の実習先に指定されている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・各施設に、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・各施設のハザードマップを準備し、利用者の避難場所、避難ルートを決めている。			4								11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・自社が管理する地下水を災害時には開放している。 ・看護師・理学療法士を有している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・地元の看護学校の実習を、積極的に受け入れ、仕事の理解につなげている。			4					8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・若者や子供を支援する寄付・協賛等を行っている。			4.4					8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

- ・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
- ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
- ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。